



仲間をつなぐ思いやりの心

～温もりに満ちた学校へ～

校長室だより 1月号
2026.1.21
<不撓不屈の芦中生>
・思いやりと温かな心
・言葉で伝え心で聴く
・自ら主体的に行動

令和8年を どんな年にするか

年が明けました。令和8年が始まって、もう3週間が経とうとしています。みんなの「〇学期」は順調に進んでいますか？大きなやる気と、小さな不安をもちながら



臨んだ始業式。そこでも話をしましたが、みんなの姿は、大変素晴らしいものでした。明らかに、2学期までの集団としての姿とは

変わっていました。あの整然とした雰囲気は、年が変わったことをきっかけにして、みんながそれぞれの胸に何かしらの「決意」をもって、新たなスタートを切った証だったと思います。



その「決意」の光は、みんなの胸に、今もしっかりと輝いていますか？自分が決めたことをやり続けることは、なかなか難しいことです。だからこそ、事あるごとに思い返して、頑張ろうとした気持ち、挑戦しようとした気持ちを忘れないようにしないといけません。「今から」「今日から」「今週から」。きっかけは自分で作れます。

人生の大きな決断

〇学期は、みなさんの中学校生活に大きな影響を与える大切な時間です。今、3年生はこれまでの決められた道から、自分が歩いて行く人生の岐路のすぐ手前まできて

います。中学校の3年間をどう過ごすかで、岐路への立ち方も大きく変わります。ここから先は、自分の人生をどう生きて



いくのかを自分で考え、決断しなければなりません。だから、中学校の1年1年は、とても大切で、重要な意味をもつのです。〇学期は、次の1年でしっかり成長するための準備期間なのです。

- ① 今日という日は ①
- ① 残りの人生の ①
- ① 最初の一日 ①

これは、みなさんもよく知っている、『ディズニーリゾート』の創立者であるウォルト・ディズニーの言葉です。世界中で人気のアニメキャラクターの生みの親であり、世界各国に展開するテーマパークを作り出したウォルトですが、成功するまでには、会社の倒産など、いくつもの試練を経験しています。ですが、この言葉のように、失敗しても、新たに「今日からがんばろう！」という決意をもって努力したからこそ、自分の目指した生き方にたどり着いたのだと思います。令和8年が、みなさんにとて、自己実現のために努力し続けることができる1年になるよう、心から願っています。

